

二次避難場所一覧

地区名	二次避難場所	収容人数
伊都地区	椎木講堂 講義室その他収容可能建物内	10,000名 (5,000名)
病院地区	医学部百年講堂、体育館	2,000名 (1,000名)
筑紫地区	福利厚生施設	200名 (100名)
大橋地区	多次元ホール、体育館	1,000名 (500名)

※ () は、感染症の感染拡大が懸念される場合の収容人数